

白内障について

白内障とは、水晶体が混濁した状態を言います。正常な水晶体は透明で光をよく通しますが、濁りが生じると光が十分に通らなくなるため、見にくくなり、視力が低下します。

原因として最も多いのは、加齢です。水晶体が濁るのは、一種の老化現象のため、個人差はありますが、誰でも年齢とともに濁ってきます。

* 主な症状

かすんで見える、見にくくなる、まぶしくなる、二重に見える、眼鏡が合わなくなるなどの症状が出ます。

* どんな検査が必要？

視力検査や白内障の程度、眼底の状態などを調べます。

* 治療

日常生活に支障がない程度であれば、経過をみる、もしくは点眼薬で進行をおくらせます。運転がしづらい、視力が低下して仕事に支障があるなど、日常生活に不自由を感じるようであれば手術を検討します。

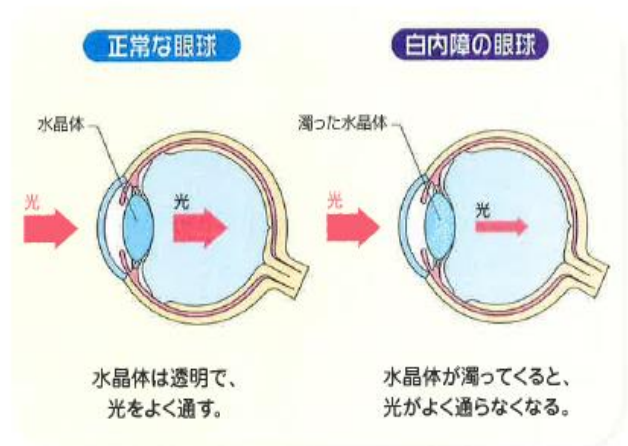
* 手術

手術は眼に局所麻酔をかけ、濁った水晶体を超音波で砕いて取り出し、人工レンズを入れる方法がおもに行われます。

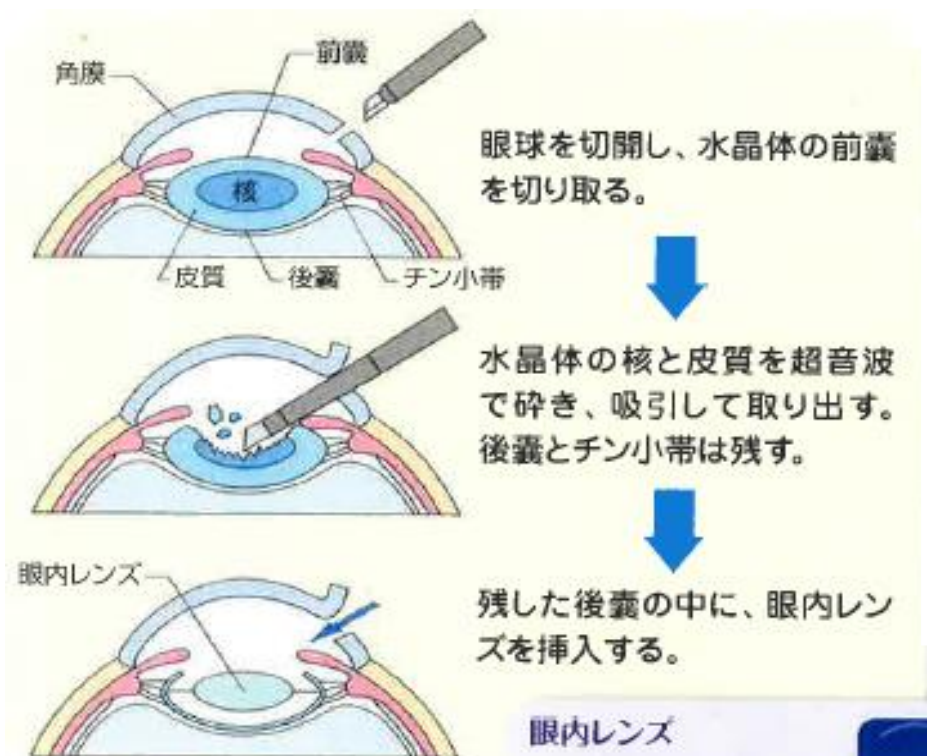
術後1～3カ月は、炎症を抑え感染を防ぐために、医師の指示通りに点眼薬を使用しましょう。

* 手術後の見え方

白内障により濁った水晶体を透明な人工レンズに交換するため一般には明るく、色が鮮明に見えますが、ほかに眼の病気がある場合は、その病気の程度に応じた見え方となります。



白内障治療（手術療法）



* 清水厚生病院での手術

当院での白内障の手術は、片眼 3 泊 4 日で行います。
通常は手術の約 1 か月前に、眼の詳しい検査と全身の検査に来ていただきます。
この時の眼の検査は、角膜の状態を調べる検査や、眼内レンズの度数を決めるために
眼の長さを測定します。また血液検査、心電図、レントゲン等の検査も行います。
検査の約 2 週間後に医師から検査結果の説明があり、結果に問題がない場合、
手術の説明となります。その後手術の前に散瞳して診察し、手術の当日の朝、入院して
いただきます。

無事手術が終わり、退院した後は、約 1 週間後に受診していただき、経過が良ければ
その後の診察は、だんだん間隔が空くようになります。

また手術後は視力が不安定になりやすいので、メガネを作る場合、眼の状態が安定して
くる術後 3 か月以降に作ることをお勧めしています。